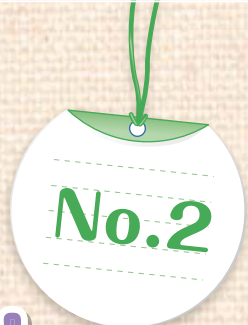


訪問看護



ステーション便り

訪問看護ステーション
しんしろ ☎32-2416

訪問看護を利用するのはどんな時？

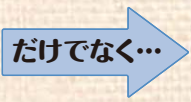
自宅療養するとき、本人やご家族だけだと不安になってしまうことがあります。訪問看護を利用することで、自分たちだけでは判断できない専門的なこともアドバイスを受けることができ、主治医とのコミュニケーションをスムーズに保つこともできます。

利用について迷っている方は、お気軽にお問い合わせください。

医療処置
が必要に
なったら...

病院に
通えなく
なったら...

1人で
動けなく
なったら...



**重症化を予防するために
早い段階から!!**

なるべく長く、住み慣れた地域で過ごすには、病氣と上手く付き合っていくことが大切です。持病を重症化させないように...

こんなときは訪問看護にご相談ください

以下のような項目に1つでも該当する場合は、訪問看護の利用についてご検討ください。

<input type="checkbox"/>	現在の療養状況は？
食生活	食事の摂取量が少ない、食事内容に極端な偏りがある、水分摂取量が少ない、誤嚥しやすい、脱水をおこしやすい
排泄	便秘がある、頻尿がある、尿が出にくい
清潔	入浴時に脈や血圧が変動しやすい、ひとりで浴槽に入れにくい、口腔内の清潔が保てない
移動	転倒の既往がある
その他	精神的に不安定、不眠、物忘れがひどくなった

医療処置がありますか？
 インスリン療法などの自己注射、経管栄養（胃ろうなど）、点滴、中心静脈栄養、創や床ずれの処置、人工肛門、腹膜透析、尿路系管理（留置カテーテル、自己導尿、人工膀胱）、疼痛管理、在宅酸素療法、人工呼吸器（マスク式・気管切開下）

服薬の管理は大丈夫ですか？
 ・決められたように薬が飲めない（飲み残しがあったり、予定より早く薬がなくなったりすることがある）
 ・薬に対する理解が不十分であり、服薬が中断する心配がある。

リハビリテーションは必要ですか？
 ・寝たきりや麻痺などにより、関節の動きが悪くなった
 ・継続してリハビリが必要だと思う

介護を取り巻く、ご本人やご家族の状況はいかがでしょう？
 ・一人暮らし
 ・日中はご家族の方が不在など、介護をする人がいない
 ・介護者の健康に不安がある
 ・在宅療養に対するご本人、ご家族の不安が大きい
 ・病状が不安定で、入退院を繰り返している
 ・終末期を自宅で過ごしたいという希望がある

